

授業科目名： **哲学思考実験**
科目区分： 企業倫理・経営思想（応用）
必修・選択の別： 選択
配当年次： 1・2 年次
単位数： 1 単位（学習期間 1/2 学期）
担当教員： [重田 孝夫](#)、[吉田 宣也](#) 他
オフィスアワー（授業相談の受付）：

e ラーニングサイトおよびメールでの質疑応答を受け付けています。
（メールアドレスは大学院グループウェアのアドレス帳でご確認ください）

1. 授業の概要

この講義では、哲学の目的と基本課題を理解し、人類の歴史において重要な問題として取り上げられたテーマを通して、どのような哲学的な考え方があるのかを学び、自らも考察してみることで、よりよく生きるための思考力を磨くことを目指します。

ソクラテスやアリストテレスにはじまる西洋哲学史を学ぶのとは違い、人生の岐路でジレンマに陥ったり、異なる価値観の対立に悩んだりした際に、実際にどう判断したらよいかを一段高い視点で客観的に考えられる力を養うことが目的です。例えば、組織行動学の授業で取り上げられている「トロツコ問題」を、哲学者たちはどのように考えて来たのかを理解し、21 世紀に入って飛躍的に発展している技術革新に伴い人命にかかわる判断を AI に任せてよいのかをみんなで考えます。

経営においても、景気後退によって財務状況が悪化したときに、A 案：リストラで人員削減し、業績の V 字回復を狙うのか、B 案：教育研修のための時間がとれると位置づけ、人材育成を図り、景気が回復したあとの新事業展開に備えるのかといった判断は、業界横並びや過去の成功体験に基づいて行うよりも、会社のミッションやバリュー、ビジョンをベースに、時間軸も踏まえて、総合的に分析、判断することが重要です。過去の偉大な経営者も、従業員や取引先だけでなく、その家族の生活にも大きな影響を及ぼす決断を下す際には、その責任の重大さを鑑み、歴史や哲学に学び、賢人たちと意見を交換することが少なくありません。

近年、米国第一主義、都民ファーストなどという政治スローガンが一部でもはやされましたが、「自分」がよければよいという時代ではありません。地球温暖化や格差問題を放っておいたのでは、私たちが生きて行く生活基盤、経済が発展するための社会基盤が崩壊してしまいます。企業の社会的責任を超えて、企業価値、そこで働く人たちの価値、社会価値を同時に創造して行くことが求められています。

「私たちは何のために生きているのか」は、哲学上の大きな質問であり、万人が満足できる回答がある訳ではありませんが、私たちに少なくとも、私たちの子どもやその子どもたちが生きるに値するよりよい社会と地球環境を築いて行くために、よりよく生きることが求められているのではないのでしょうか。

2. 学習目標

シラバスでの「学習目標」とは、受講後に何ができるようになっているかのいわゆる到達目標であり、本来は、受講生が本講座を受講したあとでできるようになることを記述することが期待されています。が、この講義の目的は、古代から現代までの東西の優れた哲学者・思想家の英知を表面的に理解することではありません。みなさんの思考力や判断力、対話力を高めることです。したがって、受講生の現在の思考力にバラツキがある中で、短い受講期間後に一定レベルの思考力を発揮できるように訓練することはできません。これまでより、よりよく考え、思索することができるように上達することが学習目標になります。

これまで世界で何が問われてきた哲学的な問題は何か、優れた哲学者や経営者はそれらの問題にどう向き合ったのかを理解したうえで、「トロッコ問題」のような 21 の哲学的「思考実験」*を取り上げ、みんなで考察し、どう考えるとよいかを学び、上達を図ります。クラス全体での討議に加え、2 つの思考実験にはグループで取り組んでもらいます。そして、第 1 回よりも、第 2 回のグループワークの方が、よりよい分析や洞察、議論ができたかどうかで上達を判定できるようにします。

21 の思考実験については、グループワーク 2 つのほか、各章で取り上げている思考実験のうちの一つ、計 7 つの答案を作成してもらいます。各受講生は、他者との比較で自分の思考力が高いか低いかではなく、授業を通して、自分の思考力が高めることができたかどうかを客観的な事実で把握するようにしましょう。

弁証法や実存主義といった専門用語がわからなかった場合は、自ら調べるようにしてください。哲学入門といった本を読むとよいかも知れませんが、わからない言葉や概念に出会ったときには、ネットでも十分ですので、必ず調べることが大切です。

*注：思考実験とは、問題の本質を見極めるために、重要な変数や要因を絞り込んで、どう考えたらよいかを試すための頭の中で想像する実験のこと。「トロッコ問題」では実際にトロッコを走らせる必要はない。

3.授業計画

吉田、重田他の教員が分担して、異なったテーマを取り上げて、受講生が考察、洞察を深める手助けを行います。

第 1 章では、授業の進め方や受講方法、評価基準の説明に続いて、哲学とは何かを説明します。さらに哲学的思索をするうえで妨げとなる落とし穴を解説します。第 1 章の思考実験では、功利主義とエマニュエル・カントの義務論をおさらいし、AI が発達した世界で、多くの人命を助けるために自己犠牲を払うか、自分の生存を優先して多くの人命を見殺しにするのかの判断を AI のアルゴリズムに任せてよいかを取り上げます。(担当：重田)

第 2 章からは、各章 3 つの思考実験に挑みます。

加えて、2 つのグループワークを設け、授業とは別の思考実験にアクションラーニングの手法を使い、各グループが自らテーマを選んで、哲学的なコンセプトを学び、実際に考えるのに役立つ思考実験を実施します。

4.受講上の留意点

思考実験についてはディスカッションを行います。

授業は公開された週末までに視聴し、翌週にはディスカッションに参加してください。翌々週には、次の思考実験のディスカッションになります。学習計画を立てて、7 週間しっかりとディスカッションに参加できるようにしましょう。

5.成績評価基準

ディスカッションの投稿：20%、思考実験の答案：40%、グループワーク：40%

6.必読書籍・参考書籍

必読書籍：なし

参考書籍：ジュリアン・バジーニ著『100 の思考実験：あなたはどこまで考えられるか』紀伊國屋書店 2012 年
Yuval Noah Harari “21 Lessons for the 21st Century” Jonathan Cape 2018
山口周著『武器になる哲学 人生を生き抜くための哲学・思想のキーコンセプト 50』KADOKAWA 2018 年

7.その他

特にありません。